

# 豊寿園

FRUITFUL TREE

# 豊かな樹

Spring 2021

Vol. 50

JAPANESE RED CROSS

SOCIETY FUKUOKA

PREFECTURAL CHAPTER

THE SPECIAL NURSING HOME

HOUJYUEN



TOPICS

HOUJYUEN'S ALBUM

AREA INFORMATION

HOUJYUEN×FAMILY

## トピックス

T O P I C S

令和2年度北九州市自治会活動  
応援事業者表彰を受賞しました！

この制度は北九州市内で自治会活動の推進に寄与し、住みよい地域づくりを継続して(10年以上)支援されている事業者を表彰することを目的に令和2年度に創設され、今回当園の松ヶ江北校区自治会との交流活動が評価され受賞に至りました。コロナ禍で思うような交流を行うことが難しい状況ではありますが、これまでに築きあげた地域の皆さまとの絆を絶やさず、さらに深めていきたいと思っております。



表彰式での松ヶ江北校区橋崎会長  
(写真右)と荒巻園長(写真左)

## 令和3年度辞令交付式を行いました！

桜が満開の豊寿園では新入職員1名と転任者1名を迎え辞令交付式を行いました。

## 【転任】

池尻 朋文 日赤福岡県支部事業課長 ⇒ 豊寿園事務課長へ  
松隈 諭至 豊寿園事務課長 ⇒ 大寿園事務課長へ

## 【採用】

鶴 裕介 特養1階正規介護職員

## 【昇格】

上田 健太 特養2階介護主任へ



## 転入職員挨拶

皆さま、こんにちは、4月1日付で日本赤十字社福岡県支部から豊寿園に転入してまいりました。

昨年から、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、世の中の環境が大きく変わってしまいました。福祉施設を取り巻く環境も大きく様変わりし、ますます厳しさを増している中、豊寿園では利用者様やご家族が安心してサービスを受けていただけるように最大限の努力をされ、感染者を一人も出さぬように並々ならぬ日々の努力をされています。

私も、皆さまの姿勢を見習い、豊寿園の運営・経営に貢献できるよう頑張りたいと思っております。

これから、どうぞよろしくお願いたします。



豊寿園 事務課長

池尻 朋文

## ひな祭り喫茶



3月 雛飾りを愛でながら、美味しいおやつをお楽しみいただきました。食べきれないほどのスイーツを前に笑顔が弾けます。

## お花見



4月 豊寿園でも桜が満開に。気候を配慮し屋内で桜を見て、待ちわびた春の訪れを感じていただきました。

## 節分



2月 節分の日には鬼を退治して今年の無病息災を願いました。

## 年賀式



1月 園長からの年始挨拶の後でお神酒を皆さんにお配りし一年の幸せを願いました。

デイサービス

年賀式



1月 今年も元気に過ごせますように。

節分



2月 お多福に似た優しい笑顔です。

桃の節句



3月 皆さんと一緒に飾ったお雛壇。桃の節句を楽しみました。



おやつ作り



3月 フルーツたっぷりなクレープを作りました。

散歩



3月 園内を散歩し桜を楽しみました。

## 地域ぶらり情報



## 安くて満足

豊寿園より県道25号線(門司行橋線)を小倉南区方面に進むと、左手に、一軒家のお店が2軒並んだFlower & Café『夢叶』があります。豊寿園より車で5分の距離です。2020年10月にOpenしたばかり。駐車は広く安心です。お店の1・2階は白を基調とした清潔感のある部屋です。天気の良い時はテラスでも食事が可能で、のんびり過ごせます。ソーシャルディスタンスも図れます。TAKEOUTもできますので、その際はお電話です。魅力は、リーズナブルなお値段。お食事やデザート単品メニューは300円から、セットメニューは500円からで飲み物も100円からとお手頃です。家庭的な食事でボリュームは控えめですが、女性にはちょうど良いのではないのでしょうか。同じ敷地内にはハーバリウムやソープフラワーなどを取り扱っているflowerショップもあります。Flower & cafe『夢叶』でゆっくりランチを楽しんでみてはいかがでしょうか？

Flower & cafe

夢叶 ゆめか

北九州市門司区大字吉志24-6

定休日 水・日曜、祝日

OPEN 11:00~16:00

TEL 093-481-7680



## あとがき

待ちにまった春。豊寿園でも満開の桜たちが今年も綺麗な花を楽しませてくれています。ただ、以前のように楽しめる春が来るのはまだ少し先ようです。この春、豊寿園に私立慶成高校から介護実習生が来てくれました。実習生の受入れを行うのは数年ぶりとなります。私の学生時代は介護保険が始まった年で同級生もたくさんいましたが、あれから20年。今では介護福祉士の養成校の生徒数も減少の一途をたどっており、介護業界の人材不足の一因となっています。日本全体で見てもこれから働き手が減っていくことは確実で、少ない人材を各業界で取り合うという状況が予測されています。介護保険とともに年を重ねてきた身としては、介護福祉士のロールモデルを示しつつ、この仕事、そして豊寿園がより魅力的なものとなるように目指していきたいと思えます。

今の豊寿園の魅力は、この“豊かな樹”で感じていただけたらと思います。この先ますます魅力的になっていく豊寿園にご期待ください。

豊寿園広報担当 森 英樹



今回表紙を飾ってくれたのは、デイサービスの野呂さん(左前)、家中さん(右後)、保崎さん(左後)、山路さん(右前)、上野さん(中後)です。3月で豊寿園の制服を脱がれた野呂さんを囲んで“仲良しミセスの同窓会”といった雰囲気の写真撮影させていただきました。5月には保崎さんも退職予定です。お二人ともこれからも豊寿園デイサービスセンターを見守ってくださいます。長い間お疲れさまでした。

# あなたと向き合った日々

HOUJYUEN × Family

今回は、昨年5月に豊寿園でお看取りさせていただきました藤元ナミ子様の利用開始から最期の時までの経過について、奥水介護課長の手記をもとにご紹介します。

藤元ナミ子様は、タバコ屋の看板娘(?)。豊寿園との関わりは、ショートステイを希望され面接に伺ってからです。「ジユース、持って帰り!」とお断りする私たちに無理やりでも持たせようとされる、気さくな方でした。元々一人暮らしでしたが、認知症が出現してから、娘さんが夜は泊まって介護をされていました。日中はデイサービスを利用されていました。デイの無い日は、近所や警察に鍵がないと訴えるので、ショートステイをご希望されました。当園に来る前に、他の施設のショートステイを断られたそうで、当初の利用から帰宅欲求や不眠への対応が必要でし

—入院初日、ナースステーションのカウンターを乗り越え乱入したそうです。—



今回ご紹介する藤元ナミ子様。看取り対応が始まったところの娘さんのお写真です。娘さんの介助で大好きな甘いものを楽しまれていました。

た。利用を繰り返す中で、「ここは私の家、みんな帰れ」と口調が強くなっていました。ご家族と相談し服薬のコントロールの為に、病院に入院することになりました。病院から聞いた話では、入院の初日に、ナースステーションのカウンターを乗り越え乱入したそうです。さすが、運動能力が高い!

—元気なナミさんは健在でした。—

平成29年1月退院後特養へ入所となりました。入所後は棟内を歩きながら職員を叱責。「ちゃんとせんかー」「うう。」以前よりはやんわりと怒る、なかなか寝ない、歩き回る…元気なナミさんは健在でした。食べるのが大好きで、楽しいことも、人も大好きなナミさん。職員は怒られても、「ナミさんナミさん」と事あるごとに声をかけていました。夕方になると「洋子(娘)が帰って来ん」と落ち着かなくなりました。「洋子さんは腰が悪いから、病院に行つてますよ。お母さんのはんの用意ができないからここで食べて」と言うてましたよ」というと安心されました。洋子さんが面会時に持つてくるおやつをとても楽しみにしていました。元気一杯のナミさんに異変が現れたのは、平成31年の3月、夕食後に唾液や食べたものを吐き出すようになりました。胃

を減らしたハーフ食に変更しましたが、もともと、食えることが好きなナミさん、ちよくちよく他の人の食事に手が伸びていました。胃薬を処方されても一時的で改善せず、受診しCTを撮ると、進行性の胃癌が発見されましたが、治療を検討している間に転倒、骨折され入院となりました。ご家族は胃がんはそのまま治療はしないと決められました。

—「豊寿園に戻った時の表情を見たら、やはり園で過ごさせたい」—

退院後は以前のように自由に歩くことはできなくなりましたが、お口は元気で相変わらずで職員は「はよせい!」とお叱りを頂いていました。

令和2年3月。突然食事を拒否。テーブルに伏せ、反応が悪く救急搬送。病院では酸素マスクを剥ぎ取り、点滴を抜いて激しく抵抗。「胸水が溜まっている。利尿剤で1週間観察するが、今後どうするか家族に決めるように」と病院から言われました。「ご家族が相談に来られ「医療行為に抵抗がある為、拘束される。それは望まない。」と退院後は看取りで豊寿園に戻ることを決められました。1週間の入院期間中「意外に落ち着いていたんですよ」ご家族が後悔しないように、一旦退院後もう一度話し合いをおこなうことと

としました。退院後「豊寿園に戻った時の表情を見たら、やはり園で過ごさせたい」と言われ、3月27日看取り介護を開始しました。入院中も、食事の吐き出しが見られていましたが、園の食事も同様に口には入れるものの吐き出す行為は続きました。食べられるだけ介助することを家族と職員の間での決め事としました。また、血圧が低く、ベッド上で過ごす時間が多くなりましたが、音楽を掛けると職員と一緒に歌を口ずさんでくれました。その姿は元気な頃のナミさんでした。4月に入ると、形のあるものが食べにくくなりました。高カロリー飲み物を提供しながらもカレーや好きな魚を食べることができました。ご家族の持つてこられるケーキのクリームやプリン、果物が好きとスライスしたモモをおいしそうに食べました。」とお話ししてくださいるご家族の表情を見ては、頑張って食べてほしいと思いました。1日の中で熱発したり、解熱したりと一喜一憂する日々でした。体調の良い日を選んで、好きな入浴も行いました。

5月に入ると、高めの熱や、少量の嘔吐物に血液が混じることもあり、ほとんどベッド上で過ごすようになりました。それでも、賑やかなことが好きなナミさんをお部屋に一人で過ごさせたくないというホールにベッドを移動し、常に職員が側に付き添えるようにしました。通りかかる利用者さんがそつと声をかけることもありました。仲の良かったYさんは、側を離れずに過ごしてくれ

した。ご家族が来園された際は、お部屋で過ごしていただきましたが、職員が入れ替わり立ち代わり訪室しては笑い声が聞こえていました。

5月3日より、娘さんが夜お部屋に泊まってくれました。1時間ごとに様子を見に職員が巡視をするのでゆつくり休めなかつたと思います。この頃には、湿らす程度でしか口にするのができなくなっていました。無呼吸が10秒程度から30秒超えることが増え、職員が思わず「ナミさん」と体をゆすつてしまうことがありました。

5月8日 介護、看護、相談員が総出で入浴を行いました。身体を洗っている時に、ふつと呼吸が止まりました。一瞬ヒヤリとしましたが、再び大きく呼吸をされ浴槽内では口元も緩んで気持ちよさげです。大好きな炭坑節を唄うと口元が動きました。

5月9日 一晩中娘さんと過ごされ、娘さんは朝一旦帰宅されました。その後は、いつもの通り職員の側で過ごしていただいていたのですが、昼過ぎて呼吸が変わってきました。ご家族が来園後は呼吸数が減少。「ナミさん!」「ナミさん!」ご家族と職員の声が響きます。13:54 呼吸停止。「よく頑張ったもね。ありがとう」娘さんが声を掛けられました。仲の良かった、Yさんもお別れにきました。ご家族より「ありがとうね」と感謝されていました。Yさんも涙が止まりませんでした。最期は好きだった訪問着を着ていたナミさんは旅立っていかれました。



写真 お元気なころに行事に参加された時の一コマ。賑やかで楽しいことが大好きだった藤元様でした。

後日「皆さんに見送られて、母も喜んでると思います。職員さん皆さんが、ナミさんには怒られましたと話すので、よっぽど好き勝手言ってたんでしょね。」と笑って話されました。今でも笑顔で踊っているナミさんが目に浮かんできます。きつと天国でも楽しく歌って踊ってるんでしょね。ナミさん、本当にお疲れ様でした。そしてありがとうございました

**Spring2021**

**Vol.50**

TOPICS

HOUJYUEN 'S ALBUM

AREA INFORMATION

HOUJYUEN × FAMILY



# FRUITFUL TREE

JAPANESE RED CROSS SOCIETY FUKUOKA PREFECTURAL CHAPTER THE SPECIAL NURSING HOME HOUJYUEN